

# 【外国語・中3・「Unit 5「Plastic Waste」】①

## 育成を目指す資質・能力

環境問題について、自分の考えや気持ちなどを、他の人たちと考えや意見を共有しながら、自分の考えを整理し、聞き手にわかりやすく伝え合うことができる。

## ICT活用のポイント

協働的な学びに関わる学習活動／自身の考えをまとめ仲間と共有することで発話内容や英語表現の向上

## 事例の概要

### 【つかむ】

写真を見たり話を聞いたりして、環境問題について自分なりの考えや意見を表現しようと学習の見通しをもつ。

### 【追究する】

プラスチックごみの現状や環境問題への取り組みを理解し、自身の考えや感想を伝え合う。

### 【まとめ】

環境問題について自身の考えや気持ちを整理してわかりやすく伝え合う。

### 【事例におけるICT活用の場面①】

- ❑ 学習支援ソフトのファイル共有機能に各時間で伝え合った自身の考えたことや感想を書き、教師に送って添削してもらったり、クラスで共有して、良い表現などを学びあう。
- ❑ 各時間で書いたものを書き溜めておく。

### 【事例におけるICT活用の場面②】

- ❑ 各時間に書き溜めた内容を見ながら、環境問題に対する自身のまとまった考えを整理する。
- ❑ 何度もペアで伝え合い、画面を見ながら伝えられた内容や伝えられなかった内容などを確認し、内容をより伝わりやすくしたり、付け加えたりする。
- ❑ 良い表現を全体に共有する。
- ❑ 伝え合った結果やその他の意見を参考に最終的な意見をまとめる。

# 【外国語・中3・「Unit 5「Plastic Waste」】②

## 【事例におけるICT活用場面②】



生徒同士の意見交換や情報共有の場面におけるICTの活用により、生徒の活発な意見交換が見られ、自分の考えを相手に伝える楽しさを実感させることができた。

- ここまでの授業で伝え合ってきた自身の考えや意見を学習支援ソフトにあるファイル共有機能に書き溜めておく。
  - 教師の添削が可能。全体で共有ができる。
- まとめの過程で、書き溜めたものをタブレットで確認しながら、仲間に伝え合うことで、環境問題に対する自身の意見をまとめていった。
  - 編集が容易でその場ですぐ修正ができる。
- お互いで意見を聞き合い、タブレットを確認しながら、よりよい伝え合いになるよう修正や練習を行う。
  - 生徒同士で効率よく学び合いが行うことができる。
  - 教師が全体を確認することで、全体共有が有効に行える。